

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人・事業所の理念を職員会議や日々の申し送りで確認し、認知症があっても地域の中で安心して暮らし続けられる支援を意識している。			理念を掲示するだけでなく、地域との関係づくりや日々のケアに反映しようとしている。今後は職員全体への浸透を継続することが望まれる。
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域団体であるこつとん村の畑が目の前にあることで日常的に地域の方々が施設の周りにいるという状況。 民生委員の方と連携を図りながら地域の方が気軽に立ち寄れる施設を目指している	地域団体こつとん村の畑もあり地域の人たちが出入りしやすい施設である。千渡地区をはじめ菊沢地区全体が高齢化している。今後より一層地域自治会と無量荘が協力しあえる体制をつくって行くことが必要 地域との大きなつながりばかりではなく日常生活の延長線上で地域とつながりを持つ取り組みが必要		こつとん村や民生委員、地域住民との関係を活かし、地域の一員として開かれた事業所づくりが進められている。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎回の運営推進会議にて事業所の活動報告を行い、状行書の現状について委員の皆さんと共有した	運営推進会議の中で話があたり活動に移した、中学生下校時の事故防止のための施設前交差点の下校見守り等地域活動については取り組みを行った。 今後ご利用者の処遇に関わるサービスの向上につなげられる取り組みも行っている。		会議で出た意見を下校見守りなどの地域活動につなげており、会議を実際の改善に活かす姿勢が見られる。
4	市町村との連携	市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	通常の事業運営において問題や疑問・課題があった場合は介護保険課の担当者に助言等を頂いている。	市の担当者からも「些細なこと・こんなこと孫談志手も良いのか？」などと言ったことも気軽に相談してくださいと話を頂いた。 運営推進会議を通してできたこのようなつながりを活かしてより事業所と市長選担当者の連携が図れるようにする。		市担当者に相談できる関係があり、運営上の疑問や課題を確認しながら事業を進めている。引き続き早めの相談を継続することが重要である。
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束廃止委員会を開催し、身体拘束に該当する行為や不適切な対応について確認している。玄関施錠や見守り方法についても、本人の安全と権利擁護の両面から検討している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	委員会や事例検討を通じて、身体拘束をしない支援の意識づけが行われている。今後も具体的事例を用いた確認を継続してほしい。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待防止委員会や研修を通じて、不適切な声かけ、介護放棄、心理的虐待につながる対応を防ぐよう職員に周知している。気づいたことを報告・相談する体制づくりに努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待防止に関する体制整備は進められている。今後も日々のケアの振り返りと職員間の相談しやすい環境づくりが必要である。

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	成年後見制度や日常生活自立支援事業について、必要時に関係機関へ相談できるよう情報把握に努めている。金銭管理や意思決定支援が必要な方については、家族・関係者と連携している。			制度活用の必要性を意識し、関係者と相談しながら支援する姿勢がある。今後は職員研修等で理解を深めることが望まれる。
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時や料金改定時には、重要事項説明書・契約書・加算変更等について家族へ説明し、同意を得るようにしている。疑問点がある場合は電話や書面で補足している。			契約・改定時の説明は行われている。今後も書面と口頭説明を組み合わせ、家族が理解しやすい対応を継続してほしい。
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族からの相談や苦情、日々の要望について、管理者・職員間で共有し、必要に応じてケア方法の統一や報告書の作成につなげている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族の声を受け止め、支援方法の見直しに反映しようとしている。継続的な報告と説明が信頼関係の維持につながる。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ユニット会議や申し送りを通じて、職員からの意見や現場の困りごとを確認している。報告・連絡・相談の順番や役割分担を整理し、改善につなげている。			職員の意見を聞く機会が設けられている。今後は会議で出た意見を実行し、結果を振り返る仕組みをさらに整えるとよい。
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職場環境改善委員会を開催し、勤務の偏り、早番・夜勤体制、記録や申し送り方法などについて検討している。ICT やスグロクシステム等も活用し、働きやすさの改善を進めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職場環境の課題を把握し、改善に向けた検討が行われている。継続的に人員体制と業務負担を見直してほしい。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染症対策、身体拘束、虐待防止、看取り、医療連携などの研修を計画的に実施している。ユニット会議内でも事例を通じた学びの機会を設けている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	必要な研修や委員会が計画され、職員育成に取り組んでいる。今後も記録を残し、全職員への周知を徹底してほしい。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、医療機関、他事業所との情報交換を通じて、地域のニーズや退院支援の状況把握に努めている。			同業者や関係機関とのつながりを広げようとしている。今後は交流機会を増やし、相互に相談できる関係を深めることが期待される。
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者と職員が日常の家事や会話を共にし、介護する側・される側に固定しない関係づくりを意識している。洗い物や草むしりなど、できる役割を大切にしている。			本人の力を活かし、暮らしの中で自然な関係を築く支援が行われている。無理のない範囲で役割づくりを継続してほしい。

15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	家族との外泊や面会、電話連絡、馴染みの持ち物の持参など、本人が大切にしてきた関係を継続できるように支援している。	運営推進会議では、家族との関係や地域とのつながりを途切れさせない支援が、本人の安心につながることを共有した。		家族や馴染みの関係を大切にしようとする姿勢がある。本人の希望を確認しながら継続的に支援してほしい。
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日々の会話、介護記録、家族からの情報を通じて、本人の思い、生活歴、好み、過ごし方の希望を把握するよう努めている。			本人の意向を把握しようとする取り組みがある。認知症により言葉で表しにくい方についても、表情や行動から読み取る支援が期待される。
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	担当者会議やモニタリングを実施し、本人・家族・職員の意見を反映しながら介護計画を作成している。短期目標の更新時には状況確認を行っている。	運営推進会議では、ケアプラン、モニタリング、担当者会議の記録を整え、生活状況の変化に応じた見直しを行うことを確認した。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	介護計画とモニタリングの仕組みは整えられている。家族への説明と同意、記録の整備を継続することが重要である。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ワイズマン、申し送りノート、LINE WORKS等を活用し、食事・水分・排泄・服薬・体調変化などを記録している。気づきは申し送りで共有している。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	個別記録を活用し、支援の振り返りにつなげようとしている。記録漏れや表現のばらつきがないよう継続した確認が望まれる。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	福祉郵送運送の登録をしており、外出・通院が困難なご利用者のニーズに答えられる体制を整えている	ご利用者や地域の高齢者にとって「福祉の困りごとを気軽に相談に乗ってもらえるだけでも存在価値は大きい グループホームの本来事業の身にとどまらず利用者・地域住民の小さなニーズに合わせて柔軟な対応ができるよう体制を作る		福祉有償運送などを活用し、通院・外出等の困りごとに柔軟に対応しようとしている。地域の小さなニーズへの対応も期待される。
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	訪問診療・訪問マッサージ・訪問歯科などの医療と連携を図り医療との連携を強化している 他にもインフォーマルサービスとしてフットマッサージケアや移動販売などにも来てもらい施設だけで完結しない支援をしている	地域包括ケアシステムの考えに基づきグループホーム無量荘でも「地域づくりを大切にほしい」との意見が上がった。 地域づくりをしていく上で地域にすでにある資源を活用して入居者が豊かに暮らせる体制を整える		訪問診療、訪問歯科、訪問マッサージ、移動販売等の地域資源を活用し、施設だけで完結しない暮らしの支援が行われている。
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人・家族の希望を確認し、かかりつけ医、訪問診療、専門医受診等と連携している。受診結果や薬の変更は職員間で共有するようにしている。			医療機関との連携を図りながら受診支援が行われている。薬変更や受診結果の共有を確実にすることが望まれる。

22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時には医療機関へ生活状況やADL、服薬等の情報を提供し、退院時には病院の退院連携室と連絡を取りながら受け入れ準備を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	病院との情報交換や退院支援に取り組んでいる。今後も早期から退院連携室と連絡を取り、受け入れ体制を整えることが重要である。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化や看取りの可能性がある場合には、医師、家族、看護職と状態を共有し、本人が穏やかに過ごせる支援について検討している。看取りに関する研修も実施している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	終末期支援に向けた体制づくりが進められている。家族との意思確認、医師との連携、記録の整備を継続してほしい。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	救急搬送や急変時には、意識状態、バイタル、転倒状況、排便状況等を確認し、看護職・医療機関・家族へ連絡する流れを職員に周知している。			急変・事故時の連絡体制を整えようとしている。今後は訓練や事例検討を重ね、全職員が同じ対応を取れるようにしてほしい。
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	火災・地震・感染症等を想定した訓練を実施し、夜間を含めた避難方法や連絡体制を確認している。地域との協力体制づくりも課題として把握している。	運営推進会議では、避難訓練の実施状況や、災害時に地域と協力できる体制づくりについて共有した。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	訓練は実施されている。今後は地域住民や関係機関との協力体制をより具体化することが望まれる。
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄、入浴、更衣、整容などの場面で、本人の尊厳やプライバシーに配慮した声かけを行うよう職員間で確認している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	尊厳やプライバシーへの配慮を意識した支援が行われている。職員間で対応の差が出ないよう継続的な確認が必要である。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	起床、食事、入浴、休息、余暇などについて、本人のペースや体調に合わせた支援を心がけている。声かけを工夫し、無理強いない対応をしている。			本人のペースを尊重した支援が行われている。日によって状態が変わる方についても、柔軟に対応していくことが望まれる。
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事量や嗜好を確認し、食欲が落ちている時は記録・報告している。可能な方には配膳や片付けなどを一緒に行ってもらい、生活の役割につなげている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事量の確認や役割づくりに取り組んでいる。今後も食事を楽しめる環境づくりを継続してほしい。

29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	水分摂取量、食事量、体重、便通、服薬状況を記録し、摂取不足が続く場合は看護職へ報告している。個別の状態に応じて声かけや提供方法を工夫している。			記録をもとに摂取状況を把握しようとしている。暑い時期や体調不良時には、より細かな観察と報告が必要である。
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後の口腔ケア、義歯の確認、紛失防止、口腔内の状態確認を行っている。必要時は訪問歯科と連携している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	口腔ケアや義歯管理の課題に取り組んでいる。確認方法を統一し、再発防止につなげることが望まれる。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄パターン、便秘、失禁の有無を記録し、トイレ誘導や声かけを行っている。本人の残存能力を活かし、できる部分は見守りで支援している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の力を活かした排泄支援が行われている。記録をもとに個別のタイミングを把握し、支援を継続してほしい。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の体調や希望に応じて入浴日や時間を調整し、拒否がある場合は声かけやタイミングを工夫している。皮膚状態の確認も行っている。			本人の希望や体調に合わせて入浴支援が意識されている。皮膚トラブルの早期発見にもつながるよう記録を継続してほしい。
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	眠りスキャンや夜間巡視、本人の訴えを参考に、睡眠状況や夜間の不安を把握している。日中の過ごし方との関係も見ながら支援している。			睡眠状況を把握し、安心して休める環境づくりに取り組んでいる。機器の情報と職員の観察を合わせて活用してほしい。
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	服薬内容や変更点を確認し、朝食前・朝食後など用法の違いを職員間で共有している。薬変更時は申し送りを徹底し、症状変化を観察している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	服薬支援は行われている。薬変更時や処方内容が複雑な場合には、確認者を明確にし、誤りを防ぐ体制を継続してほしい。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	草むしり、洗い物、会話、音楽、季節行事、外出など、本人の生活歴や好みに合わせた役割や楽しみを作るよう努めている。	運営推進会議では、入居者が「やることがない」と感じないよう、日々の暮らしの中で役割や楽しみを持てる支援を確認した。		本人の力や好みに応じた役割づくりが行われている。今後も個性を大切に活動を増やしてほしい。
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	花見、いちご狩り、買い物、通院、近隣散歩など、本人の希望や体調に合わせて外出機会を作っている。福祉有償運送も活用している。	運営推進会議では、外出支援や地域行事への参加が生活の楽しみにつながることを共有した。		外出機会づくりに取り組んでいる。安全面や感染症状況に配慮しながら、本人の希望に沿った支援を継続してほしい。

37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	金銭管理は家族や成年後見人等と確認し、本人が買い物を楽しめる場面では希望を尊重して支援している。			金銭管理について慎重に対応している。本人の楽しみや自己決定を損なわない支援方法を引き続き検討してほしい。
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族への電話連絡、面会調整、手紙や写真の共有など、本人と大切な人とのつながりを保つ支援を行っている。			家族との連絡支援が行われている。本人が自分から伝えたいことを表せる機会を大切にしてほしい。
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共用スペースの整理整頓、季節の飾り、動線の安全確認、手すりや家具配置の調整を行い、落ち着いて過ごせる環境づくりをしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	安全性と生活感に配慮した空間づくりが行われている。今後も転倒予防と居心地のよさを両立させる工夫が期待される。
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の希望やその日の気分を確認し、起床、食事、活動、休息の場面でできるだけ本人主体の選択を尊重している。			本人主体の暮らしを支えようとする姿勢が見られる。意思表示が難しい方についても、日々の反応を丁寧に把握してほしい。
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時のアセスメント、家族からの聞き取り、日々の会話をもとに、生活歴や習慣、好みを支援に反映している。			生活歴や馴染みの情報を支援に活かそうとしている。情報を職員全体で共有する仕組みを継続してほしい。
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	健康面・医療面・安全面について、バイタル、食事水分、排泄、睡眠、皮膚状態、転倒リスク等を日々確認している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の観察をもとに健康・安全面の支援が行われている。変化があった場合の早期報告を継続してほしい。
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人のこれまでの生活習慣を尊重し、起床時間、食事、休息、活動のペースをできる範囲で継続できるよう支援している。			本人のペースに合わせた生活支援が行われている。今後も個別性のある暮らしを支える工夫を継続してほしい。

44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	自室には本人が大切にしている衣類、写真、家具、馴染みの物を置けるよう家族と相談している。安心できる環境づくりに努めている。		<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	馴染みの物を大切にしている支援が行われている。入居時や状態変化時に家族と相談し、環境を整えてほしい。	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人の体調や希望を確認し、季節行事、外出、地域との関わりに参加できるよう支援している。参加が難しい場合も雰囲気を感じられる工夫をしている。	運営推進会議では、外出や地域行事への参加が本人の楽しみや社会参加につながることを確認した。		外出や催事参加の機会づくりに取り組んでいる。安全面を確認しながら、本人の希望を尊重した支援を続けてほしい。	
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人ができることを見極め、洗い物、草むしり、片付け、会話、音楽などの活動を通じて力を発揮できるよう支援している。			本人の残存能力を活かす支援が行われている。無理のない範囲で役割や楽しみを広げることが望まれる。	
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場を日々の暮らしの中で得ることができる	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日々の会話、音楽、季節行事、作業への参加など、本人がいきいきと過ごせる場面を作るよう努めている。		<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	会話や活動の機会を通じて、本人がいきいき過ごせる場面づくりに取り組んでいる。	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	こっつん村、民生委員、地域住民、下校見守りなどを通じて、本人や事業所が地域と関わる機会を持っている。	運営推進会議では、地域との日常的なつながりを大切にし、無量荘が地域の中で開かれた存在となることを確認した。			地域との関係づくりが進められている。今後は入居者本人が参加しやすい交流の形をさらに工夫してほしい。
49		総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居者が安心して暮らせるよう、医療連携、家族連絡、地域交流、職員間の情報共有、生活環境整備に取り組んでいる。	運営推進会議では、無量荘が地域に支えられ、入居者が安心して暮らせる場であり続けるための課題と改善点を共有した。	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	地域密着型サービスとして、入居者・家族・地域との関係を大切にしなが運営している。今後も会議での意見を改善に活かしてほしい。